



## サークル活動制限の緩和にふまえ、冬学期、 早稲田のサークル文化活動の 前進をきりひらこう！

各サークルが年間活動の集大成として文化諸企画を成功させよう！

サークルが相互に協力して早稲田学生文化を発展させよう！

文連常任委員会

### ◇この冬学期、早稲田のサークル文化活動を活発にくりひろげよう

すべてのサークル員のみなさん！ 11/15付学生部の告示を区切りにこれまで感染対策を理由に行なわれてきたサークル活動制限の一部緩和をきりひらいたことにふまえ、いま、多くのサークルが年間活動の集大成として音楽演奏会や演劇公演、研究発表会やショーなどの実現に向けて奮闘しているところだと思います。大変ご苦労様です。検査などの一定の条件を満たせば観客を入れて企画を行ったり、マスクを外して演奏や演技、発表を行ったりすることが可能になったことを生かして、各サークルの文化諸企画を盛り上げ、成功させましょう！

これまで感染対策を理由に有観客での公演・発表は禁止されてきたことによって、多くのサークルがオンラインでの発表に切り替えたり、発表自体を断念したりすることを余儀なくされてきました。学生会館施設の使用時間や人数制限によって、仲間との共同研究や共同作業によって成り立っているサークル活動そのものが十分にできないという困難に直面してもきました。

こうしたサークル活動にとって厳しい条件のもと、どのサークルも創意工夫して活動を継続し、文化創造の力を蓄えてきたと思います。みなさん、その力をいかに発揮する時はいまだです！ 各サークルが年間活動の集大成をそれぞれの場で実現し、早稲田サークル文化全体の発展をきりひらきましょう！

このただなかで私たちは、サークル活動上の困難に直面するたびに討論をつみかさね、困っていることを相互に共有してその打開のために結束をつくりだしてもきました。討論をつうじて出された各サークルの意見や要望を要求書としてまとめ、学生部に対する要求と交渉をねばりづよく行なうことをつうじて、感染対策を理由にしたサークル活動制限の緩和を切り拓いてきたのです。

新型コロナの感染が蔓延するなか文化・芸術活動や社会

活動が自粛や制限を強いられ、音楽ライブや落語などの2020年度の公演数は66.6%も減少してしまったそうです（コンサートプロモーターズ調査・12/6朝日新聞掲載）。こうした社会状況のもとで、早稲田ではサークル活動上の困難を相互に協力して打開し・文化の火を灯し続けてきた営為に誇りをもち、私たちはさらにこの冬学期、早稲田における文化・芸術活動を前進させるためにがんばろうではありませんか。

こうした私たちの活動を盛り上げる一助として、サークルの文化諸企画の宣伝・告知をはじめ、観劇評や企画を実現したサークルからの報告文、サークル員のエッセイなどを豊富に掲載したサークル交流誌「文化の交差点」を、今後も協力して発行していきましょう。各サークルの企画を鑑賞しあい・相互に受ける刺激を文化創造の発展に生かしていこう！

### ◇すべてのサークルへのさらなる支援と保障を求めよう

上のことを実現するために、サークル活動に対する財政的支援や活動場所の保障・拡大をいっそう強化・充実させることが不可欠です。

今秋から、生活必需品をはじめ活動に必要な資材などの価格がのきなみ値上がりしていることに加え、感染対策の検査費用や消毒用品なども合わせれば、サークルの支出は増える一方です。それにもかかわらず、サークル補助金額は依然として

賑やかな学生会館の様子と  
B2テラスでの作業の様子



低額に抑制されています。日本学生支援機構の調査でも全国的に学生のアルバイト収入や仕送り額は減っており、サークル活動経費の捻出に苦労しているサークル員は少なくありません。

仲間との共同実践をつうじて芸術表現や理論研究を深化し、またそのただなかで人間関係を学んだり切磋琢磨しあったりすることができるサークル活動は、オンライン授業の継続などで学生が孤立しがちになっている大学生活において大きな支えとなっています。当局・学生部はこのようなこんにちにおけるサークル活動の意義をふまえ、その発展とサークル員の負担緩和のために今以上に強力に支援を行なうべきです。サークル補助金の大幅な増額を求めよう！

11/15付の告示では学生会館施設の使用上限人数が一定程度緩和されましたが、音楽や演劇、ダンスなど大人数での練習が不可欠なサークルにとっては使用人数の制限や閉館時間の繰上げがなお継続しているため外部の有料施設での活動を余儀なくされ、サークル員の金銭的負担が大きくなっています。サークル文化活動にとって日々の稽古や練習の積み重ねこそ大切です。イベントの有無にかかわらず外部の有料施設を使用した活動経費も補助金の支給対象に含むよう求めよう！ 学生会館の活動スペースの不足を解消し・密集を回避してサークル活動を行なうために、換気機能が高いキャンパスの空き教室を開放するよう求めよう！ サークル活動と感染対策を両立するためにキャンパスのラウンジと同様に学生会館の部室や会議室にもアクリル板やサーキュレータを設置するよう求めよう！ 故障して開放できない部室や会議室の窓の修理（E 519など）を直ちに行なうよう求めていこう！

#### ◇困窮する学生への継続した支援の強化・拡充を求めよう

新型コロナの感染拡大が打ち続くもとで、貧窮を強いられる学生が増大していることは深刻な問題です。アルバイト先の休業にともなうシフト減少や解雇によって収入を断たれ、高額な学費の支払いができないために退学を余儀なくされる学生は昨年よりも増加しています（文科省の調査では今年4～8月にコロナの影響で大学や短大を中退した学生は前年同時期より1.8倍増）。多くの学生が昨今の生活必需品の高騰で食費や生活費を切り詰め、大学や地域で行なわれる食料配給には長い列ができています。困窮する学生にたいする政府の生活補償や学費減免措置がまったく不十分であることは明らかです。私たちはひきつづき全国の学生と連帯し、困窮するすべての学生・家庭にたいする無条件の生活補償や学費無償化を求めて声をあげていきましょう！ 経済的な事情で学業の断念に追い込まれる学生や、サークル活動への参加を断念せざるを得ない学生が増加することを許してはなりません。私たちは早大当局に対しても、給付型奨学金のさらなる拡充や学費減免をはじめとした学生生活への支援と援助をさらに強力に行なうことを求めよう。

#### ◇「言論・表現の自由」「平和主義」を否定する憲法改悪に反対する声をサークルからあげよう！

サークル活動をつうじて芸術・表現活動や理論活動に携わる私たちは、憲法で保障された「言論・表現の自由」や「集会・結社の自由」などの諸権利を感染対策を理由にして制限し否定する動きを、決して看過することはできません。いま岸田政権は「コロナ禍で緊急事態に対する切迫感が高まっている」と言いながら、首相に国民の権利を制限する権限を与える「緊急事態条項」を創設するために、12/6からの臨時国会ですでに憲法審査会を開始し改憲発議への準備を加速しています。東京五輪の開催強行によって医療現場に多大な犠牲を強制し感染拡大状況を自民党政権こそが招き寄せたことについては一切不問に付し、むしろ新型コロナの感染拡大を利用して改憲を押しすすめる絶好の機会にしようとしていることを絶対に許すわけにはいきません。

この現状に警鐘を鳴らし改憲に反対する声をあげている心ある文化人・知識人とかたく連帯し、私たちも、「緊急事態条項」創設やこれを突破口にして「戦力不保持」「交戦権の否認」をさだめた憲法九条をはじめとした現行憲法の改悪に反対する声をサークルからあげていきましょう。

サークル員のみなさん！ 私たちは学内唯一のサークル連合体である文連のもとにサークルの規模やジャンルの違いをこえて団結し、感染対策を理由にしたサークル活動制限の緩和を切り拓いてきた地平にふまえ、さらにながらばつていきましょう！（2021年12月11日）